

三四四番

あな醜みにく 賢さかしらをすと 酒飲さけのまぬ 人ひとをよく見みば  
猿さるにかも似にる

三四五番

価あたいなき 宝たからといふとも 一坏ひとつきの 濁たぐれる酒さけに  
あにまさめやも

三四六番

夜光よるひかる 玉たまといふとも 酒飲さけのみて 心こころを遣やるに  
あにしかめやも